

栃木群馬長野広域的観光活性化計画

計画のポイント

巨大な観光需要を抱える首都圏の周縁部に位置する特性を最大限に活かし、関越道、上信越道、北関東道から観光地へのアクセスを強化するとともに、民間と連携した観光PRや沿道環境美化活動に広域で取り組むことにより、世界遺産等の歴史的文化遺産や豊かな自然環境が有機的に連携した広域的な観光活性化を図る。

民間主体との連携

地域住民、NPO、企業、道路管理者等の協働により、イベントや周知広報活動、沿道環境美化活動等を実施。

観光活性化に関する他計画の取り組みと連携

- ・新とちぎ観光プラン
- ・群馬県観光振興計画
- ・長野県観光振興基本計画

計画期間 平成25年度～平成29年度

1. 計画の目標
各県の魅力的な観光拠点を有機的に結びつけ、関東内陸地域の広域的な観光活性化

2. 目標を定量化する主な指標
内陸地域間の広域的な交流活性化により、連携する三県の観光客総数の増加
4481万人(H25)→4730万人(H29)

3. 主な事業
観光地アクセス向上のための道路整備
民間と連携した沿道環境美化活動 等

拠点施設 ● 基幹事業 ○ 観光拠点へのアクセス改善(道路整備、修繕等)

周遊観光ルート調査、地域連携道路調査

山陰海岸ジオパーク圏域広域観光活性化計画

計画のポイント

世界ジオパークネットワークに加盟した“山陰海岸ジオパーク”圏域において、鳥取・兵庫に分布する観光地間のアクセスを強化するとともに、ジオパークを広く宣伝するためのPR事業等、広域的特定活動によって山陰海岸ジオパークの魅力を高め、周遊観光を促進し、広く圏域外からの来訪者の増加を図ることにより、広域的な地域活性化を目指す。

ジオパークとは？
「ジオ(geo)」は、地球や大地という意味の接頭語で、「ジオパーク」とは、科学的に見て特別に重要で貴重な、あるいは美しい地質遺産を含む一種の自然公園です。



尾道松江線沿線地域における観光ブランド力向上にむけた広域観光活性化計画

計画のポイント

風光明媚な鞆の浦、世界遺産の石見銀山、尾道市周辺の神社仏閣といった歴史的資産など、多くの観光施設を有する広島県と島根県が連携し、広域的な周遊観光ルートを形成することにより、広く地域外からの来訪者の増加を図り、地域の活性化に寄与する。このため、観光地周辺の道路を整備し、尾道松江線沿線地域における観光ブランド力向上を図る。

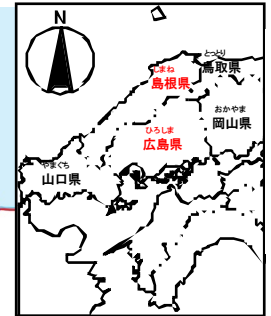
凡	例
	一般国道(直轄管理区間)
	一般国道(直轄管理区間外)
	高規格幹線道路
	一般有料道路



石見銀山



松江城



帝釈峽



千光寺

効果促進事業
- 自転車道路ネットワーク



サイクリングイベント(例)

中国横断自動車道
尾道松江線

九州地方からの来訪

近畿地方からの来訪

四国地方からの来訪

平成24年度
供用区間

平成26年度
供用区間

計画期間 平成25年度～平成29年度

1 計画の目標
多くの観光施設を有する広島県と島根県が連携し、広域的な周遊観光ルートを形成することにより、広く地域外からの来訪者の増加を図り、地域の活性化に寄与する。

2 目標を定量化する主な指標
尾道松江線沿線地域における観光入込客数の増加
平成29年度 2,926千人増(対平成22年度)

3 主な事業

- ・尾道松江線のインターチェンジと観光文化資源をつなぐ交通ネットワークの強化や、観光地周辺の環境整備
- ・大規模な自転車道路ネットワークの構築
- ・総合的な案内サインの設置

拠点施設 基幹事業 観光促進エリア 周遊観光ルート

九州西南部地域における広域的な観光活性化

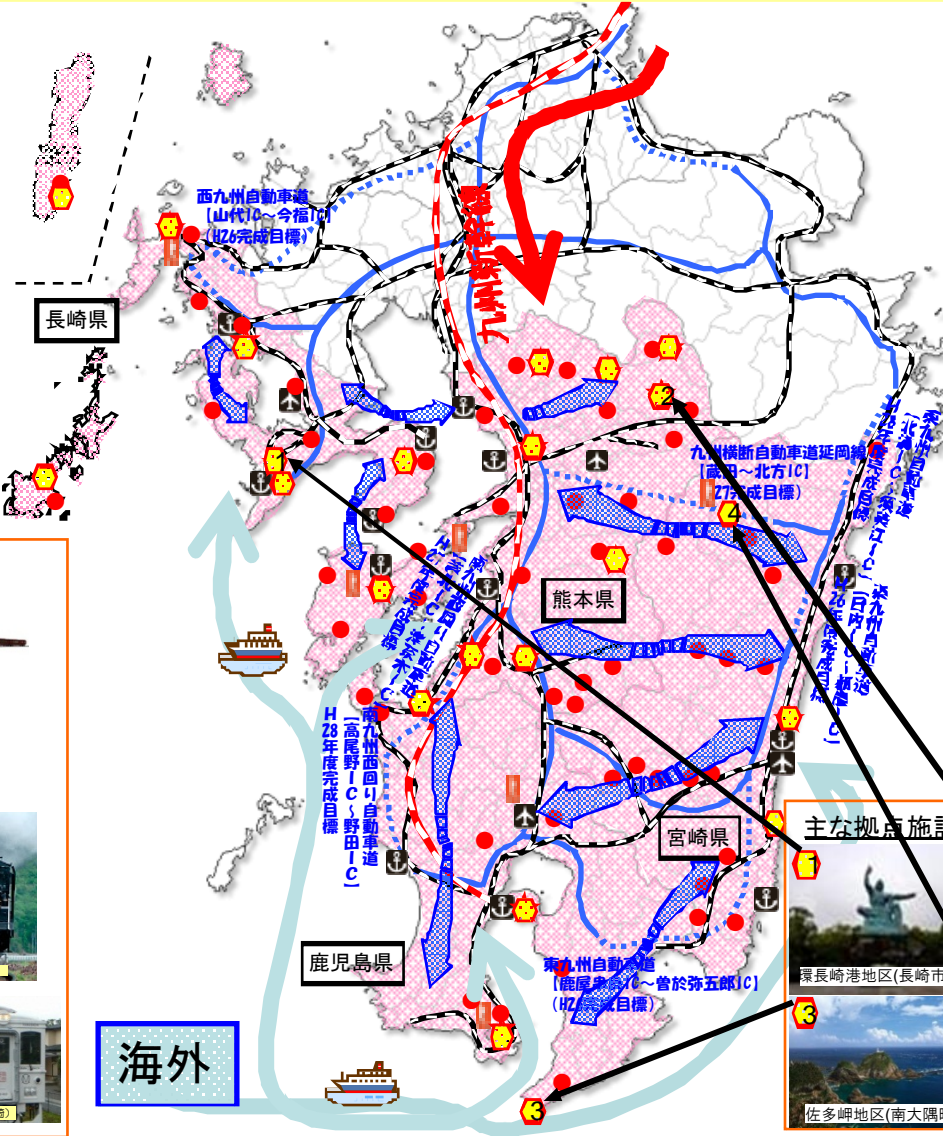
計画のポイント

高規格幹線道路（東九州自動車道、九州横断自動車道延岡線、西九州自動車道及び南九州西回り自動車道）の段階的な開通、九州新幹線（鹿児島ルート）の全線開業（H23.3）、外国クルーズ船における九州への寄港回数の増加及び多彩な観光列車の運行などを契機に、既存交通網と連携強化を図ることで、九州西南部での本州やアジアからの観光客増加が期待される。また、九州西南部の交通拠点と拠点施設、拠点施設間のアクセス道路、観光案内及び観光PRなどを広域的に連携して整備することで観光資源の発掘及び国際観光化を図り、観光宿泊者数を増大させ観光活性化を図る。



凡 例

- 主な基幹事業
- 拠点施設
- 広域道路網
- ✈️ 空港・港湾拠点（旅客）
- 九州新幹線
- 鉄道
- ➡️ 二次・三次アクセス
- ➡️ 九州新幹線による流入
- ➡️ クルーズ船航路



【計画期間 平成25年度～平成29年度】

- 1. 計画の目標**
九州西南部の交通拠点と拠点施設、拠点施設間のアクセス道路、観光案内及び観光PRなどを広域的に連携して整備することで観光資源の発掘及び国際観光化を図り、観光活性化を図る。
- 2. 目標を定量化する主な指標**
 - 九州西南部の「延べ宿泊者数」(万人)
2,256万人(H23年) ⇒ 2,432万人(H29年度)
 - 九州西南部の「外国人延べ宿泊者数」(万人)
65.4万人(H23年) ⇒ 112万人(H29年度)
 - 九州西南部の「旅行消費額」(億円)
4,708億円(H22年) ⇒ 5,150億円(H29年度)
- 3. 主な事業**
広域交通網と観光拠点のアクセス性を向上させる道路の改良及び修繕、港湾整備、観光拠点と一体となって親水性を高める河川、観光客を守る防災事業、広域観光PR、外国人受け入れのための基盤整備など

多彩な観光列車



外国人受け入れのための基盤整備(基幹事業と併せて実施し、一体的な地域の観光振興を図る)

主な拠点施設



九州へ寄港する外国クルーズ船



海外